医師会病院看護部　部署紹介

手術室

手術室概要　&　平成 29 年度実績

手術室数 ： 2室

平成29年度年間手術件数 550件(泌尿器科検査含む)

＜手術内訳＞

整形外科 530件

(脊椎手術127件・骨折手術(人工骨頭挿入含む)256件・人工関節手術17件・その他130件)

その他　20件

(腹膜透析用カテーテル留置・CVポート留置・泌尿器科検査など)

※ 毎週水曜日　山口大学泌尿器科医師の診察あり

※ 膀胱鏡や前立腺生検などの検査は、設備の都合上手術室を使用しています

手術室スタッフ

看護体制 ： 6名＋病棟からの応援ナース1名(不定期)

看護師長　1名(**感染管理認定看護師**・第2種滅菌技士)

主任看護師　1名(弾性ストッキングコンダクター)

看護師　3名＋病棟からの応援ナース1名

看護補助者　1名

麻酔科医 ： 常勤医師2名+非常勤医師(水・金曜日に山口大学から各1名)　＜平成31年2月11日　現在＞

中央材料室

設備 ： 高圧蒸気滅菌器2台・過酸化水素プラズマ滅菌器1台・自動ジェット式超音波洗浄装置1台

＜中央材料室の役割＞

院内の器材・手術器械の一次洗浄から滅菌までを行っています。患者さんに 安全・安心な医療 を提供するために、各種装置のモニタリングを行い、洗浄・滅菌に関する質保証に努めています。また、手術で使用する業者からの貸し出し手術器械は、メーカー・医師と連携を取りながら、術前洗浄を行った後、滅菌をしています。

平成 30 年度　手術室　部署目標

1. 得た情報を共有し、手術で起こりうるリスクに対して準備を行い、患者に **安全・安心・安楽な手術看護 を提供する**
2. 器械出し看護師として、 **安全で円滑な手術を術者とともに展開する**

看護師長インタビュー　　手術室看護師長　浜(はま)　佳恵(よしえ)

Q: 手術室ではどのような業務を行っているのですか？

手術室では手術を受ける患者さんに安心と安全と安楽を提供できるよう、そして円滑に手術が遂行されることを常に考えて業務を行っています。また、医師・看護師のチーム医療を大切にしています。

具体的な業務としては、手術の際、医師に器械出しをする『器械出し看護師』と、安全に手術が行えるように責任をもつ『外回り看護師』とに分かれて業務をしています。『器械出し看護師』は、手術の内容に合わせて術前に器械の準備を行い、手術中は必要な器械を迅速に、かつ適切に医師に渡すように努力しています。

『外回り看護師』の業務は、患者さんの情報を知るところから始まります。手術中、患者さん個々の情報を基に体温管理や手術体位による皮膚・神経障害の予防などを行い、不測の事態を想定し万全の体制で手術に臨めるよう努力しています。

また、中央材料室での洗浄・滅菌業務も、手術室看護師の重要な業務です。

Q: 部署目標に関して、具体的に取り組んでいることはありますか？

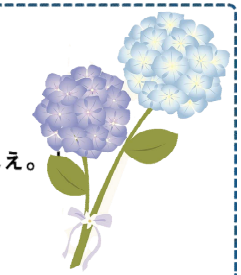
手術を受けるということは、ほとんどの患者さんにとって未知で不安なものです。手術を受けるすべての患者さんとそのご家族に、**”安全で安心できる手術看護を提供すること“をモットーに日々頑張っています。**

全身麻酔での手術を受けられる患者さんに対しては、術前に病棟訪問を行っています。パンフレットを使用して手術室で行う事を説明し、不安や疑問を受け止め、対応をすることを心掛けています。またその際に得た情報は、カンファレンスで共有し、手術で起こりうるリスクを予測して手術に備えるようにしています。

Q: 最後に。手術室の『ここが自慢！』を教えてください(‘ω’)ノ

ここぞというときの 俊敏性、集中力、一致団結 はほんとにすごいと思います。

手術室の看護師さんへ　… 突撃インタビュー！！



①「お休みの日は何をしていますか？」

Aさん「**日帰りで旅行**とか行きますよ、大阪とか！」

Bさん「泊まってゆっくりしてくれば良いのにね。若い子は元気よねぇ。」

Aさん「…そんなBさん、昨日までどこに行かれてました？」

Bさん「**スキー？**」

Aさん「**元気ですねぇっ(笑)**」

②「同じ部署の仲間へ、メッセージを！！」

仲良く元気に！これからもよろしくお願いしまーす　(#^.^#)